

母・平野由佳
 (久しぶりの登校に...)
 (学校が始まった金曜日の夜)
 孫 やつと夕夕夕夕できる！
 よねね・さき(9) 津市新町
 母・米沢恭子

2/19(木)

努力の大切さ話しデモ走行

鈴木・橋小 モトクロス選手が出前授業



鈴木・橋小モトクロス選手

予定
 のみ
 山菜
 いう
 力を
 大き
 のよ
 長た
 働を
 見え
 いるこ
 いる場
 楽し
 ほど
 亀山
 まれ
 てい

プロのモトクロス選手で、鈴鹿市出身の小島庸平さん(むら)が十八日、市内の橋小学校で出前授業の講師を務めた。夢に向かって努力する大切さを五、六年生約四十人に語ったほか、運動場でデモ走行を披露した。小島さんは六歳で競技を始め、二〇一五年に全日本選手権・国際A級1A1クラスで年間王者となった。授業では、けがに見舞われながらも、夢だったトップライターの称号を得たことを振り返り、「夢が見つかったら、かなえないという気持ちをお忘れずに努力して」と呼び掛けた。デモ走行では前輪を上げたまま疾走したり、ジャンプから飛び出したりして

10万円の「特別定額給付金」相談窓口

津市	059(229)3574 8:30~17:15 土、祝日を除く
鈴鹿市	059(382)9291 8:30~17:15 土、祝日を除く
龜山市	0595(84)3311 8:30~17:15 土、日を除く

児童を喜ばせた。質問にも気さくに応じ、「これまでもらったメダル数は」と尋ねられると、「小学生のころからだ五百個くらい」と答えていた。地元出身のレースアナウンサー辻野ヒロシさんも講師として進行役を務めた。

出前授業はNPO法人「鈴鹿モータースポーツ友の会」が市の協力を得て実施した。自動車レースのF1日本グランプリで地元小学生がコースのピットを訪ねる「シニアピットウォーク」への参加を本年度申し込みながら、大会の中止で希望をかなえられなかった四小学校のための代替イベントで、他の三校でも開く予定。(片山健生)

子育てするなら四日市

◆企画・制作/株式会社・圓◇

■土木設計 ■補償調査 ■企画開発
 ■測量調査・施工管理

INDOPI
 (株)見取コンサルタント
 代表取締役社長 見取 貴臣
 四日市市高角町2643
 TEL:059-326-1510

ごあいさつ
 四日市市長 森 智広

新型コロナウイルス感染症防止対策では、市民や関係者の皆様の多大なるご理解ご協力を賜り、心から感謝しております。

さて、今年で市制123周年を迎えた四日市市では、「子育てするなら四日市」を市の最上位となる新総合計画の重点戦略に掲げ、「子どもと家族にやさしいまちづくり」を集中的に進めています。

子どもを産み、育てるうえで感じる多くの不安や心配事を自分や家族が、県医療保健部や高校の教員に取材し、県民の野菜摂取量を高める取り組みをテーマとした作品を完成させた。安里さんと作品を見た桜井市長は「グラフを効果的に使っていて考えさせられた。吉報を待っている」と激励。安里さんは「一番も取りたいし、見てくれた人に野菜を取ろうと思っしてほしい」と話していた。

全国高校総合文化祭は新型コロナウイルスの影響で開催地の高知県に集まらず、課題作品を提出し、内容を選り形となった。

(上井啓太郎)

を小・中学生まで拡大
ども医療費助成
 から始まった子ども医療費の窓口
 F子どもの病気の早期発見と治療の
 9月から小・中学生まで拡大する
 制限を廃止します。

みんなで行こう! イベント充実

野菜摂取をテーマ 全国高文祭発表へ 神戸高、亀山市長に報告

三十一日に始まる「全国高校総合文化祭」に出場する神戸高校(鈴鹿市)放送部部長の安里愛美さん(二)が、亀山市アイリス町IIが、二十七日に亀山市役所で桜井義之市長に作品内容答を報告した。

同校の放送部は、郷土の話題を五分以内のステレオ音声と二十五枚以内のデジタル画像で伝える「オーディオビジュアル部門」に参加する。安里さんら四人



作品の作成経緯などについて説明する安里さん(亀山市役所で)

お得な会員サービス
心の剣
 現金5千円のお
 永年の信用と誠意を
 〆〆〆 や本店
 〆〆〆 0120-114248

出暮る
準備
川慶蔵
ひにけ
光洋
対ち歩
正司
はめ
邦晴
滝下
青夏
そゆ
十寿子

のなかと思ひ返を振り向いて
みてもそこは風が吹いている
だけぞ、何の思ひ出もない。こゝ
な風景をあき笑つかのまごに、心
の時間が過ぎていく。その心の時
間はいつでも作者に味方する。

区抗期とまおり見せる幼な顔
常滑市 皆川 邦子

湯豆腐はちよいと崩れて生きて
いる 津市 大久保隆紀

【佳作】
コロナ禍の第二波三波出番待つ
天白区 浅井清比古

ア子整形一つ残した泣き墨子

名東区 徳廣 光虎
八の字の髭に威厳のある遺影
春日井市 西村 青夏

＜投稿要項＞はがき1枚か
メールで3句(首)まで。住所、
氏名、電話を明記、〒460・8470
読売新聞中部支社社会グループ
ア「とつかい文芸」(短歌、
俳句、川柳のいづれか明記)
係 (e-chukudesk@yomiuri.c
om) へ。未発表作品に限る。記
念盾を贈呈。

る。感染リスクを軽減する
よつ対策を講じていく」と
述べた。また、全国各地で
頻発している災害への対応
を課題に挙げた。

・伊藤氏は千葉県生まれ、
東大法卒。1988年4月
に警察庁に入り、三重県警
警務部長、愛媛県警本部長
などを歴任した。

2013年9月からは愛
知県警警務部長を1年4か
月務めており、警察署の建
て替えや警察官の人材確保

【和泉】(しごまこと) 和
泉入港中(安市) 調査中(甚
一) 調査中明日売り入る(27
源) 調査中

【磯浦】(8海王) 入港中(1
08海王) 入港中

【尾藤】(17徳栄) 入港中(良
栄) 操中(11良栄) 入れず西
寄り

【三木浦】(1長久) 28
0回目操中昨日39(11長久)
入港中(12長久) 航走中(21
長久) 212回目操中22(23
長久) 沖出し中(35長久) 操
中21(87長久) 操中54

【引本】(興隆) 操中

【紀伊長島】(1仙昌) 入
港中(三幸) 調査中(5裕幸)
08時長島発沖へ(光栄) 調査
中(18清徳) 沖出し中(新宝)
調査中(18彦栄) 操中(11光
操中(11鶴島) 操中

おくやみ

【伊勢市】小俣町明野、小山隆夫
さん(7)

【松原市】大河内町、馬場勉さん
(95)

【多気町】五佐系、井上まきん
(96)

おくやみ記事は読売新聞
オンラインでもお読みいた
だけます。オンラインのペ
ージ右上にある「新規登録」
ボタンから読者会員登録を
してご利用ください。

今夜の鵜飼い

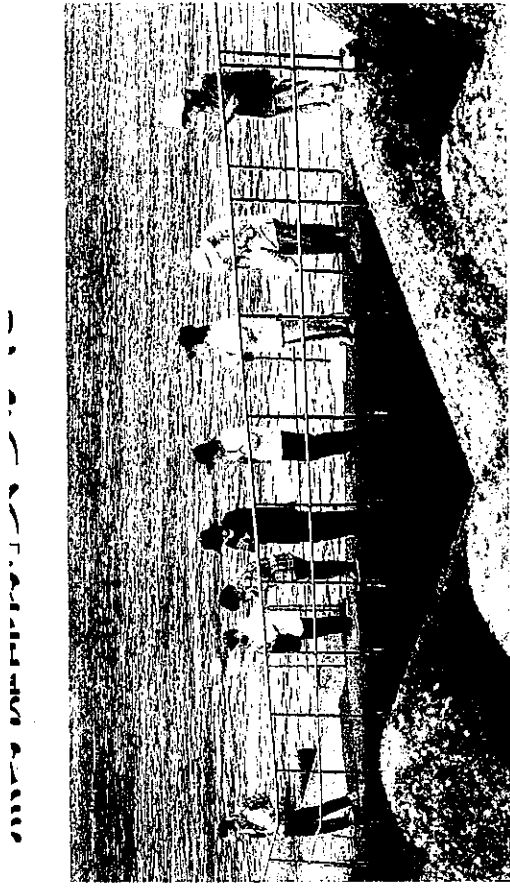
▽岐阜19時45分▽関小瀬19時
40分▽木曾川19時45分(天候な
どによって中止の場合がありま
す)

よみくりイベント

特別展「漆」(9月13日まで)
名古屋市長区徳川美術館・遠
左文庫)

USO放送

ソーシャルディスタ
ンス
国民の声も聞かなくな
ったよ
—現代政治家
(豊橋・半風子)



海に向かって手を合わせて地元住民ら(尾鷲市で) 一岩本康佑撮影

戦争末期、尾鷲市
周辺で空襲を受け
つた旧日本海軍の
部隊の隊員らを
らと、同市天満浦
長らが28日、海岸
を供えた。

周辺には、熊野灘
が、潜水母艦駒
潜艇など9隻が所
た。1945年7
米軍機が襲来し、
滅。大破した艦艇

は、沈没を回避しようと海
岸などに乗り上げ、天満
浦の古里海岸には、海防
艦1隻が座礁した。乗組
員ら147人が死亡し、
住民は負傷者の応急処置
や戦死者の火葬などに追
われた。

地区の住民らは後世に歴
史を伝えようと、数年前か
ら慰霊を続けている。この
日は、8人の地元住民が集
まり、新型コロナウイルス

感染防止のため、一人ひと
りの間隔を空けながら海に
向かって手を合わせた。持
参した花やお菓子を供えた
ほか、新型コロナウイルスの早期
終息も祈願し、マスクも供
えられた。

参加した大戸とし子さん
(90)は「国や地域のために
犠牲になった方を思うと
胸がいつぱいになる。戦争
が二度と起こらないよう
に、これからも忘れずにい
たい」と話した。

モータースポーツ知って

鈴鹿 小島選手が児童に授業

鈴鹿市の子どもたちにモ
ータースポーツの魅力を伝
えようと、市立権小学校で
28日、モトクロスライダー
小島庸平選手とレース実況
アナウンサー辻野ヒロシさ
んの出前授業が開かれた。
F1日本グランプリ(G

P)の中止など新型コロナ
ウイルス感染拡大の影響が
広がる中、啓発事業は継続
しようと、市内のNPO法
人「鈴鹿モータースポー
ツ友の会」が企画。5、
6年生約40人が聞き入っ
た。



愛車とともに児童らに
出前授業を行う小島選手

出前授業では辻野さんを
司会役に、小島選手がレー
スへの思いなどを披露。2
015年のモトクロス全日
本選手権で王者に輝いた小
島選手は「小学生時代の土
曜日は、友達と遊んだこと
がなかった。目標に向かい
やり続けることが大事だ」と
呼びかけた。

5年生の村上千紗さん
(11)は「私も、あきらめな
い気持ちを持ち続けたい」と
話していた。

人が参加

し、受講生らは熱心に耳を傾けていた。
(生田雅子)



策として生徒全員がマスクを着用し、出入りの口を開放し、生徒同士の距離を
交通安全のルールについて講演する吉野さん(右端)
川亀山市田村町の市立中部中学校で

動物をテ、多彩な絵

【桑名】動物



動物をテ
名市東方



熱心に小島選手の話聞く児童ら＝鈴鹿市山本町の市立椿小学校で
7/29 伊勢

「諦めずにやり続けて」

【鈴鹿】鈴鹿市のN.P.O法人鈴鹿モータースポーツ友の会(畑川治理事長)は二十八日、同市山本町の市立椿小学校(吉川佳男校長)で二十八日、モータースポーツ出張授業「ライダー&マシン学校訪問」を開き、五、六年生の計三十九人がモトクロスライダー小島麗平選手(三)も同市在住から体験談を聞き、夢に向かって努力することの大切さを学んだ。

夢を実現したモータースポーツ関係者の体験談を通じて、子どもたちが将来を考えるきっかけ作りにつながるのが狙い。小島選手は平成二十七年に全日本モトクロス選手権でチャンピオンを獲得し、現在は市のモータースポーツときめき大使も務める。

折れなかったと熱い思いを語り、「諦めずにやり続けることが大事」と児童らに呼びかけた。

子どもたちは熱心に話を聞いており、五年生の村上千紗さん(二)は「ブレーキを踏んでいるので、私も諦めないで頑張りたいと思った」と話していた。

授業後、校庭で児童らは、小嶋選手のモトクロスパフォーマンスを見学し、ジャンプなどの技を間近で見守り歓声を上げていた。

活用しテント寄贈

渡辺鉄工と第三銀行

町に松小学校に学校用テント一張り(約三・四坪)を寄贈した。同社は昭和四十年に若松東三丁目創業。現在も同所に鈴鹿工場があり、三代にわたって若松小出身ということから、寄贈先を選んだ。寄贈したテントは縦三・六、横五・四の大きさ。学校と相談して決めた。同日、同校で寄贈式があ

り、渡邊純平専務(三)と同社の井口篤取締役兼専務執行役員らが出席。渡邊専務が、櫻井幹大校長に目録を手渡した。渡邊専務は「少しでも子どもたちの役に立てばうれしい」とあいさつし、櫻井校長は「九月に実施予定の運動会で、子どもたちの熱中症対策として使う。大いに活用したい」と謝辞を述べた。

新型コロナウイルス感染症対策として、出前授業は学年ごとに実施。小島選手は「夢をかなえるために」をテーマに、父親の影響で小一からミニバイクに乗る始めたこと、高3でプロになったことなど半生を振り返り、「日本一になりたい」と思っずとやってきたと話した。そして「うまくいかないこともいっぱいあったが、目標に向かってやり続ける気持ちだけは

四国海運 出船入船

29日
【入港】香港船「オーオーシーエルオーストラリア」午前7時名古屋から。コンテナ積み降ろし、正午神戸へ。マースシャル諸島船

「サンタリア」蔚山から。週滑午後7時半横浜船「エイチエフ」午後4時名古屋。コンテナ積み降ろし、東京へ。パナマビルド「午後7時」午後7時30分前0時半

まちがどガイ

イベント

は秘伝宇羽糰餅類を系列的に分雲鶴「新撰素折った糰50点を料高校生以上学生以下無料。目録、問い合わせ594(21)31